

あたたか レポート

5



▲天井が高く開放感のある空間。



社会福祉法人 清風会 特別養護老人ホーム 清風会さくら

[広島県安芸高田市]

<http://www.seifu-kai.org/>

広島県安芸高田市吉田町竹原1891-1

TEL0826-47-2610 FAX0826-43-1750

2012年5月開所。ショートステイを併設した特別養護老人ホーム、
デイサービスセンター、居宅介護支援事業所からなり、
充実した介護福祉サービスが提供されています。



**利用者様も、スタッフも、
満足度の高い施設をめざして。**

今回ご紹介するのは、広島県安芸高田市の社会福祉法人清風会「特別養護老人ホーム清風会さくら」。広島県北部の山あいの街にあり、山々や田園に囲まれる閑静なロケーションに立っています。

こちらのグループでは老人福祉に加え、身体や知的・精神障害のある方への生活・就業支援も行われており、福祉サービスを総合的に展開されています。その中で、高齢者への福祉サービスを提供する「清風園」では、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業所の4つの福祉サービス機能を併設。平成24年にオープンしたばかりの新しい施設です。

清風会さくらでは、利用者様が「ここで暮らしてよかった」、またスタッフの方が「ここで働いてよかった」と心から感じられることを最大のテーマとし、画一的なものではなく利用者様お一人おひとりを尊重した介護サービスや、スタッフの方の働く環境づくりを進められています。

見守りとプライバシーを両立する Ⅱ型の独自の施設形状が特徴。

清風会さくらの大きな特徴となっているのが、木を多用した施設の内外装と、「Ⅱ型」と呼ばれている独特の構造。

木が持つ温もりや優しさ、安らぎを感じて過ごしていただけるように配慮されたデザインだそうです。特にお風呂は、特

別養護老人ホーム清風会さくらの個室、
デイサービス清風会もみじの大浴室ともに
檜づくりというこだわりで、利用者様の間
でも好評を博しています。

またⅡ型構造の為、スタッフが全体を見渡すことができる工夫がされています。スタッフによる見守りの機能はキープしながら、ほどよい死角を作って利用者様のパーソナルスペースやプライバシー感覚を確保するために考えぬかれた形状だといえます。こうした施設設備のひとつひとつに、利用者様を尊重する理念がいぎづいています。

利用者様とスタッフの信頼や 家庭的な雰囲気をついに。

サービス面でも、利用者様を尊重し、温かなケアを提供する施設の姿勢が随所にうかがえます。例えば特養の各ユニットを担当するスタッフは、完全固定制。利用者様とのコミュニケーションを密にし、深い信頼関係を築くことがその理由です。

また清風会さくらでは、毎日の食事の米飯や朝の味噌汁は各ユニットで調理。ひとつの厨房で一括調理・配膳するよりも手間はかかりますが、3度のご飯や朝の味噌汁だけでもでき立てほかほかをご提供したいという清風会さくらならではのこだわりです。また「同じ釜」を分け合うことで、家庭的な雰囲気もいっそう高まるのではないのでしょうか。



私の施設の ユニフォーム my uniform



上質感とやさしい印象で、
スタッフの間でも好評。

ユニフォームのひとつとして採用されたこのシャツは、上質感のあるシックな色展開と、襟~前立てにあしらった花柄のアクセントが特徴。木を多用した施設のイメージとも調和し、ワンポイントの花柄も、男性スタッフにも違和感なく受け入れられています。また吸汗速乾性が高く、夏場の快適性にも優れた着心地で、スタッフの間でも人気の高いアイテムとなっています。

POINT



PR ● Feeling
aina

ご採用いただいた“aina”は、フィンランド語の「いつも」の意味を表すブランド。介護する人、される人をいつもさり気ない優しさで充たす、上質な癒しをテーマにアイテム展開しています。



▲今年の干支「巳」をテーマに。



▲ご利用者様に人気の檜風呂。



▲レクリエーションで楽しいひととき。

スタッフの多彩なユニフォームも、「個」を尊重する姿勢を象徴。

さらに、清風会さくらの特徴のひとつとして、スタッフの皆さんが着用しているユニフォームもあげられます。

清風会さくらでは、トップス・ボトムスともに複数アイテムの中から、スタッフ一人ひとりの好みでそれぞれ3着を選び、各アイテムのカラーバリエーションも自由選択できるシステムがとられています。

実際に現場では、スタッフの皆さんが色とりどりの制服姿で勤務していて、これが利用者様の間でも評判に。時には制服コーディネートが利用者様とスタッフ間の話題のぼり、会話がはずむこともあるといいます。

このユニフォームのシステムは、施設として、画一的なサービス環境を取り除きたいというコンセプトが、利用者様だけでなく、スタッフの皆さんにも向けられていることの具体例のひとつといえるでしょう。

「生きるエネルギー」を引き出せる施設・スタッフでありたい。

取材を通じて強く感じたことは、利用者様やスタッフの皆さんがとてもイキイキとして、和やかな雰囲気で満たされていること。

スタッフの方にお話をうかがうと、「開所したばかりの施設運営を軌道に乗せることに精一杯で、行事やレクリエーションなど、まだまだ不十分な面も多い」と謙遜されながらも、「利用者様には、入所前よりも明る

く元気になった方も多数見られます」と、利用者様の満足度の高さや、スタッフの皆さんの確かな信頼関係ができて上がっていることが分かります。

また施設のこれからの展望をお聞きすると、「利用者様の想いや文化を尊重し、仮に具体的な希望や欲求を口にしない利用者様であっても、その意を汲んで実現できる施設・職員でありたい」、また「そうすることで、利用者様の生きるエネルギーをいかに高めるかは永遠の課題」と語ってくださいました。

介護・福祉サービスの本質的な面を絶えず磨いていこうとするこうした姿勢があればこそ、利用者様との深い信頼が築けるのだと感じました。

レポート後日。

木を多用された施設は、とても温かな雰囲気と安心感にあふれていると感じました。また職員の皆様もとても明るく、施設全体が活気に満ちていると強く印象づけられました。開所から間もない「清風会さくら」様ですが、今後の充実・発展に期待がふくらみます。

シーユービー株式会社 渡邊 菜都美

